

# ダコニール 1000

**適用  
拡大**



**ますます  
使いやすくなりました。**



**使用時期** 収穫7日前まで → 収穫 **前日** まで

**ミニトマト**

**使用回数** 3回以内 → **4回** 以内

**アスパラガス**

**希釈倍数** 700倍 → **700~1000倍**

**茶 新梢枯死症**

**作物追加**

**つつじ類 褐斑病**

**【土壌灌注剤あるいは種子消毒剤としての適用病害と使用方法】**

2017年8月現在

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数*	使用方法	TPNを含む農業の総使用回数*
稲(箱育苗)	苗立枯病 (リゾブス菌)	500~1000	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り500ml	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	2回	土壌灌注	2回
		1000~2000	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り1ℓ				
きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	は種時又は活着後 但し、定植14日後まで	2回	土壌灌注	10回(土壌灌注:2回、散布及びくん煙及びエアゾル剤の噴射:合計8回) 6回(土壌灌注:2回、散布及びくん煙及びエアゾル剤の噴射:合計4回)
トマト							
レタス	ビッグベイン病	1000	1.5~3ℓ/m <sup>2</sup>	収穫42日前まで	2回	土壌灌注	5回(土壌灌注:2回、散布:3回)
ブロッコリー	根こぶ病		3ℓ/m <sup>2</sup>	定植時			3回(土壌灌注:1回、散布:2回)
みずな	立枯病	500	0.5ℓ/m <sup>2</sup>	は種時	1回	土壌灌注	1回
ねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)			出芽揃い後 (出芽3日後から10日後まで)			4回(土壌灌注:1回、散布:3回)
わけぎ	黒葉枯病	12	乾燥種子1kg当り60ml	は種前	1回	吹き付け処理 (種子消毒機使用)	3回(土壌灌注:1回、散布:2回)
にんじん							5回(種子への吹き付け処理:1回)

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示しています。



# 病害の同時防除に。

ST

農林水産省登録 第21759号



有効成分:テトラクロロイソフタロニトリル(TPN)・・・40.0%w/w 性状:類白色水色と粘性糊懸濁液体

ダコニールは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

## 【散布剤としての適用病害と使用方法】

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示しています。表中「-」は、使用時期の制限がないことを示しています。

Table with columns: 作物名, 適用病害名, 希釈倍数(倍), 使用液量, 使用時期, 本剤の使用回数, TPNを含む農薬の総使用回数. It lists various crops like tomatoes, cucumbers, and melons with their respective diseases and application schedules.

\*1 うち類(漬物用)に含まれる作物:赤毛ワリ、食用へちま、食用へちま、しろワリ、漬物用すいか、漬物用まくわうり、漬物用メロン、とうがら、はやとり、ゆうがお ●漬物用以外のまくわうりには使用できません。

\*2 なばな類に含まれる作物:なばな、あさまこな、あすつこ、アレッタ、おおさきな、太田かぶ、オートムボエム、大野菜、かいらん、かきな、勝山水菜、くきたちな、こうさいたい、さいしん、三景雪菜、四川児菜、チンゲンサイ(なばな栽培)、摘菜花、つぼみな、のらぼうな、博多蕓菜、はたけな(なばな栽培)、はなっこりー、みずかけな、めいけな

\*3 葉にんにく、にんにく(花茎)には使用できません。

\*4 みょうが(茎葉)への使用時期:みょうが(花穂)の収穫14日前まで 但し、花穂を収穫しない場合は開花期終了まで。

- 効果・薬害等の注意
●使用前に容器をよく振る(沈殿)。
●石灰硫黄合剤とは混用しない(分解)。
●ストレプトマイシン剤及びホセチル剤と混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してからそれぞれの剤を加える(凝集沈殿)。
●緑化期に使用する場合、発病後の処理では効果が劣ることがあるので注意する。育苗箱から希釈液が漏れないよう注意する。
●りんごに使用する場合、ゴールデンの後代品種(つがる、世界一、ジョナゴールド等)には使用しない(薬害)。落花後20日間は散布しない(薬害:サビ果の発生)。
●なしに使用する場合、二十世紀以外の品種には使用しない(薬害)。また、二十世紀でも7月以降に使用する(薬害)。
●有袋栽培のものに使用する場合、除袋直後の散布は避ける(薬害:日焼け症状)。
●いちじくに使用する場合、果実肥大期の初期あるいは夏期高温時の散布はさける(薬害)。
●ねぎ及びわけぎに土壌灌注する場合、は種時から出芽直後の処理はさける(生育抑制)。
●レタスに使用する場合、高温期の灌注はさける(生育遅延)。
●なしに使用する場合、葉にかからないよう株元に散布する(汚れ)。

- 街路・公園等で使用する場合、使用区域に縄囲いや立て札をたて、使用中及び使用後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児・人畜等に留意する。
魚毒性等... 魚類に強い影響あり。河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意する。養殖池周辺での使用はさける。使用した苗は養魚田に移植しない。移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意。(魚類)
甲殻類に影響あり。河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。(甲殻類)
使用残りの薬液が生じないように調整し、使いきる。散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さない。空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
●漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に吸収させ回収する。
●移送取扱いは、ていねいに行う。
保管... 密栓し、直射日光を避け、食品と区別して冷蔵とする。
●ラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●小児の手の届く所には置かないでください。
●空容器は圃場などに放置せず3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

29H9I17D120:T

この印刷物の記載内容は2017年9月末日現在のものです。2017年9月作成(東宣)

SCC GROUP logo and 住友化学 logo with contact information: 〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号, お客様相談室 0570-058-669, 農業支援サイト 農力 https://www.i-nouryoku.com

